

早島町観光センター条例

平成22年3月19日

条例第2号

（目的及び設置）

第1条 早島町の観光情報、歴史的資産並びに産業情報等を広く発信し、早島町の活性化と人、情報の交流を図るため、早島町観光センター（以下「観光センター」という。）を早島町前潟596番地に設置する。

（業務）

第2条 観光センターは、前条の目的を達成するため、次の業務を行う。

- (1) 観光案内及び憩いの場の提供
- (2) 町内外の特産品等に関する情報の提供及び販売
- (3) 観光センターの施設及び設備（以下「施設等」という。）の提供
- (4) 前3号に掲げるもののほか、前条の目的の達成に必要な業務

（指定管理者による管理）

第2条の2 観光センターの管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号。以下「法」という。）第244条の2第3項の規定により、町長が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせることができる。

（指定管理者が行う業務）

第2条の3 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 施設等の使用の許可に関する業務
- (2) 施設等の維持管理に関する業務
- (3) 使用料の徴収に関する業務
- (4) 施設の設置目的を達成するための事業に関する業務
- (5) その他、観光センターの管理運営上、町長が必要と認める業務

（指定管理者の公募）

第2条の4 町長は、指定管理者の指定をしようとするときは、当該指定を受けようとするものを公募するものとする。ただし、特別の理由がある場合は、

この限りでない。

（指定管理者の指定の申請）

第2条の5 指定管理者の指定を受けようとするものは、所定の申請書に次に掲げる書面を添えて、町長に申請しなければならない。

- (1) 観光センターの事業計画に関する書類
- (2) 前号に掲げるもののほか、町長が特に必要と認める書類

（指定管理者の指定）

第2条の6 町長は、次の各号のいずれにも該当するもののうちから指定管理者の候補者を選定し、議会の議決を経て指定管理者を指定しなければならない。

- (1) 事業計画による観光センターの運営が住民の平等な利用を確保することができるものであること。
- (2) 事業計画の内容が観光センターの機能を最大限に発揮させるとともに、その管理に係る経費の縮減が図られるものであること。
- (3) 事業計画に沿った管理を安定して行うことができるものであること。
- (4) その他観光センターの設置目的を達成するため町長が必要と認める事項

2 町長は、前項の規定による指定をしたときは、遅滞なくその旨を公告しなければならない。

（事業報告書の提出）

第2条の7 指定管理者は、毎年度終了後速やかに、次の事項を記載した事業報告書を作成し、町長に提出しなければならない。年度の途中において指定を取り消されたときも、同様とする。

- (1) 観光センターの管理業務の実施状況及び利用状況
- (2) 使用料及び利用に係る料金の収入の実績
- (3) 観光センターの管理に係る経費の収支状況
- (4) 前3号に掲げるもののほか、管理の実態を把握するために必要な事項

（事業報告の聴取等）

第2条の8 町長は、観光センターの管理の適正を期するため、指定管理者に対して、当該管理の業務又は経理の状況に関し報告を求め、実地について調査し、又は必要な指示をすることができる。

（指定の取消し等）

第2条の9 町長は、指定管理者が前条の指示に従わないときその他当該指定管理者の責めに帰すべき事由により管理を継続することが適当でないと認めるときは、その指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ずることができる。

2 前項の規定により指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じた場合において指定管理者に損害が生じても、町長はその賠償の責めを負わない。

3 町長は、第1項の規定による指定の取消しをしたときは、遅滞なくその旨を公告しなければならない。

（指定管理者の権限）

第2条の10 指定管理者は、指定が効力を有する間、次条、第3条及び第4条に規定する町長の権限を指定管理者の名において行うものとする。ただし、法第244条の2第11項の規定により、管理の業務の全部又は一部の停止を命ぜられた期間における当該停止を命ぜられた業務に係るものを除く。

（開館時間等）

第2条の11 観光センターの開館時間及び休館日は、規則で定める。

（使用の許可）

第3条 観光センターにおいて施設等を使用する者は、町長の許可を受けなければならない。この場合において、許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

2 町長は、観光センターの管理上必要な範囲内で前項の許可に条件を付することができる。

（許可の取消し）

第4条 町長は、次の各号のいずれかに該当する者に対して、前条第1項の許可を取り消し、若しくはその条件を変更し、又は行為の中止、原状回復若しくは観光センターからの退去を命ずることができる。

- (1) この条例若しくは、この条例に基づく規則又はこれらの規定に基づく処分に違反している者
 - (2) 偽りその他不正な手段により前条第1項の許可を受けた者
 - (3) 前条第2項の条件に違反している者
- 2 前項の規定により、使用者等に損害が生じることがあっても、本町はその責めを負わない。
- 3 町長は、施設等に関する工事のためその他公益上やむを得ない必要が生じたときは、前条第1項の許可を受けた者に対して、同項の許可を取り消し、又はその条件を変更することができる。

(使用料)

第5条 第3条第1項の許可を受けた者は、別表第1に掲げる使用料を納付しなければならない。

- 2 町長は、特に必要があると認めるときは、使用料を減免することができる。

(使用料の不還付)

第5条の2 既納の使用料は、還付しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、その全部又は一部を規則で定めるところにより還付することができる。

- (1) 災害その他使用者の責めに帰することができない理由により使用不能となったとき。
- (2) 使用者が使用開始前に使用の取消しを届け出た場合で、町長において相当の理由があると認めるとき。
- (3) 使用者が使用開始前に使用許可の変更を申請した場合で、町長において相当の理由があると認めるとき。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、町長において相当の理由があると認めると

き。

（利用料金）

第5条の3 町長は、施設の管理を第2条の10の規定により指定管理者に行わせる場合において適当と認めるときは、指定管理者に施設等の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を、法第244条の2第8項の規定により、当該指定管理者の収入として収受させることができる。

2 前項の場合において、利用料金は第5条の規定にかかわらず別表第1に規定する額の範囲内において、指定管理者があらかじめ町長の承認を得て定めるものとする。利用料金を変更しようとするときも、また同様とする。

3 指定管理者は、前項の承認を受ける場合においては、あらかじめ利用料金の額の案を作成し、町長に承認を得るものとする。

4 指定管理者は、第2項の規定により利用料金を定めたときは、直ちに公表するとともに、施設において利用者の見やすい場所に掲示しなければならない。

5 指定管理者は、第1項の場合において、町長の承認を得て定める基準により、利用料金の全部若しくは一部を還付し、又は利用料金を減免することができる。

（権利の譲渡禁止等）

第5条の4 使用者は、その権利を他人に譲り渡し、又は転貸し、若しくは使用させてはならない。

（原状回復の義務）

第5条の5 指定管理者は、その指定の期間が満了したとき又は第2条の9の規定により指定を取り消され、若しくは期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じられたときは、その管理を行わなくなった施設等を速やかに原状に回復しなければならない。ただし、町長の承認を得たときは、この限りでない。

2 使用者は、施設等の使用を終了したとき、又は使用許可を取り消されたときは、直ちに職員の指示に従い、施設等を原状に回復して返還しなければならない。

ない。

（ 損害賠償 ）

第6条 観光センターの施設等に損害を与えた者は、その損害に相当する額を賠償しなければならない。ただし、町長は、やむを得ない理由があると認めたときは、賠償額を減額し、又は免除することができる。

（ 選定委員会 ）

第7条 町長の諮問に応じ、第2条の6の規定に基づく指定管理者の候補者の選定及び第2条の9の規定に基づく指定管理者の指定取消し等について調査審議するため、指定管理者選定委員会（以下「選定委員会」という。）を置く。

2 選定委員会の委員は、町長が委嘱し、又は任命する委員5人以内をもって組織する。

3 委員は、当該諮問に係る審議が終了したときは、解嘱され、又は解任されるものとする。

4 町長は、特別の事情があると認めるときは、委員の任期中でもこれを解任することができる。

5 委員は、その職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、また同様とする。

6 前各項に定めるもののほか、選定委員会の組織及び運営に関し必要な事項は、規則で定める。

（ 報酬及び費用弁償 ）

第8条 委員の報酬及び費用弁償は、非常勤特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例（昭和42年3月9日制定）の定めるところによる。

（ その他 ）

第9条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（令和2年3月18日条例第12号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（令和4年6月14日条例第12号）

この条例は、令和5年4月1日から施行する。

別表第1（第5条、第5条の3関係）

施設使用料

区分	上限額
B棟1日につき	6,000円
C棟1日につき	2,000円
D棟1日につき	2,500円
E棟1日につき	2,000円
F棟1日につき	9,000円
観光センター敷地内（建物を除く。）1平方メートル当たり1日につき	115円

○早島町観光センター条例施行規則

平成22年3月19日

規則第3号

(目的)

第1条 この規則は、早島町観光センター条例（平成22年早島町条例第2号。以下「条例」という。）第9条の規定により条例の施行について必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 早島町観光センター（以下「観光センター」という。）の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。

2 前項の規定にかかわらず、町長が特に必要があると認めるときは、開館時間を変更することができるものとし、条例第2条の10の規定により、指定管理者が開館時間を変更する場合には、事前に町長の承認を得るものとする。

(休館日)

第3条 観光センターの休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日。ただし、月曜日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日に当たるときは、その後日においてその日に最も近い休日でない日を休館日とする。

(2) 年末年始（12月28日から1月4日まで）

2 前項の規定にかかわらず、町長が特に必要があると認めるときは、休館日を変更することができるものとし、条例第2条の10の規定により、指定管理者が休館日を変更する場合には、事前に町長の承認を得るものとする。

(使用許可の申請)

第4条 条例第3条第1項の規定により許可を受けようとする者は、所定の申請書を提出しなければならない。

(使用の許可)

第5条 町長は、前条の規定による申請書を受理したときは、これを審査し、支

障がないと認めたときは、所定の許可書を交付し、使用を許可するものとする。

(使用許可の変更)

第6条 条例第3条第1項の規定により、許可を受けた事項の変更の許可を受けようとする者は、所定の変更許可申請書を提出しなければならない。

2 町長は、施設使用の変更を許可したときは、所定の変更許可書を交付するものとする。

(使用者等の遵守義務)

第7条 条例第3条第1項の許可を受けた者（以下「使用者」という。）は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 観光センターの施設及び設備（以下「施設等」という。）に変更を加え、又は特別の設備を設けないこと。ただし、あらかじめ町長の承認を受けた場合は、この限りでない。
- (2) 使用の許可を受けた目的以外に施設等を使用し、又は許可を受けた行為以外の行為をしないこと。
- (3) 使用の許可を受けた施設等以外は使用しないこと。
- (4) 火災、盗難等の発生の防止に努めること。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、町長が指示した事項

(損壊等の届出)

第8条 使用者は、施設等を損壊し、又は滅失したときは、直ちに届け出てその指示に従わなければならない。

(係員の立入り)

第8条の2 町長は、施設の管理上必要があると認める場合は、係員を使用中の施設に立ち入らせることができる。この場合において、使用者はこれを拒んではない。

(使用料の減免の基準等)

第8条の3 条例第5条第2項の規定による使用料の減免の基準は、次のとおりと

する。

(1) 使用料の全部を免除することができる場合は、早島町又は本町行政機関が主催又は共催する事業のため使用するときとする。

(2) 使用料の半額を減額することができる場合は、次のとおりとする。

ア 早島町が後援する事業のため使用するとき。

イ 早島町スポーツ少年団又は早島町子ども会に登録している団体がその活動で使用するとき。

ウ 町内に住所を有する障がい者及びその介護人で構成する団体が使用するとき。

エ 町長が認める早島町の歴史・文化の継承・保存を目的とする団体がその活動に使用するとき。

オ その他町長が、公益上必要があると認めるとき。

2 使用者は、前項の規定による使用料の減免を受けようとするときは、所定の減免申請書を町長に提出しなければならない。

3 町長は、前項の規定による申請があったときは、これを審査し、適当と認めたときは、所定の減免許可証を交付し、減免を許可するものとする。

(使用の禁止)

第9条 次の各号に該当する者に対しては、観光センターの使用を拒むことができる。

(1) 公共の秩序を乱し、又は善良の風俗を害するおそれのある者

(2) 政治的又は宗教的活動に利用するおそれがある者

(3) 施設等を損傷するおそれのある者

(4) 観光センターの設置目的に照らし、ふさわしくない使用を行うおそれのある者

(5) その他観光センターの管理上支障があると認める者

(選定委員会の委員)

第10条 条例第7条に規定する指定管理者選定委員会（以下「委員会」という。）

の委員は、次に掲げる者のうちから町長が委嘱し、又は任命する。

- (1) 識見を有する者
 - (2) その他町長が必要と認める者
- (委員会の会議)

第11条 委員会の会議は、町長が招集する。

- 2 会議の議長は、委員の互選により決定する。
- 3 会議の議事は、出席者の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。
- 4 議長は、必要と認めるときは、関係者若しくは有識者（以下「関係者等」という。）の出席を求めてその意見若しくは説明を聴取し、又は関係者等から必要な資料の提出を求めることができる。
- 5 議長は、会議において委員が調査審議事項に利害関係を有すると認めるときは、委員の退席を求めることができる。

(委員会の議事の報告)

第12条 議長は、会議の終了後速やかに、議事について町長に報告するものとする。

(指定管理者に管理を行わせる場合における規定の適用)

第13条 条例第2条の2の規定により町長が指定するもの（以下この条において「指定管理者」という。）に観光センターの管理を行わせる場合における第5条及び第6条の規定の適用については、これらの規定中「町長」とあるのは、「指定管理者」とする。

(その他)

第14条 この規則に定めるもののほか、観光センターの管理に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成31年3月11日規則第26号）

この規則は、平成31年4月1日から施行する。

附 則（令和4年4月1日規則第6号）

この規則は、令和4年4月1日から施行する。

附 則（令和5年1月4日規則第1号）

この規則は、公布の日から施行する。ただし、改正後の早島町観光センター
条例施行規則第2条第1項ただし書の規定は、令和5年4月1日から施行する。

附 則（令和6年3月8日規則第4号）

この規則は、令和6年4月1日から施行する。

附 則（令和7年2月26日規則第3号）

この規則は、令和7年4月1日から施行する。

附 則（令和7年11月6日規則第24号）

（施行期日）

- 1 この規則は、公布の日から施行する。ただし、第8条の次に2条を加える改正
規定は、令和8年4月1日から施行する。

（準備行為）

- 2 前項ただし書によるこの規則の施行の日（以下「施行日」という。）以降の
使用料の減免について必要な手続きは、施行日前にこれを行うことができる。